



▲ くさんの葉っぱ



▲ 収穫したそら豆



▲ 豆麴にしたそら豆

地域を変える

POWER!!



地域おこし協力隊 活動報告 納見 直さん

今商品化を進めているスパイスのために、また今年もトウガラシを栽培しようと思っている。
昨年病気にかかった株があったので、トウガラシ畑周辺の風通しを良くしようとして木を切り始めた。高い木で高さ5m、直径10cmとあったところだ。葉っぱから何とも独特なおいがある。近所の方に聞いてみると、「くさんな」かもねーと言われて、調べて茹でて食べてみた。胃にいいと聞いたけど、芽のギリギリ感といい、味といい、もっとすごい栄養素を秘めている気がする。

昨年秋から育てているソラメは、豆板醤、燻製の試作のために栽培している。今回は前回の3倍の面積に増やした。雑草、芽かき、ネット調整、病害予防など何かと大変だったが、昨年よりはよく実った。
実ったとはいえ、水はけの悪さが原因と思われるチヨコレート斑点病にかかった。それでも同じ岸良に住むソラメ先生は、上出来上出来、わっはっはっはーと人間がでかい。私が先生のようになる日は来るのだろうか。そうこうしているうちに、どんどん熟し始めてあたふたしながら収穫を終わらせた。
思ったより収穫量があったのでソラメ味噌も作ることにした。初めての豆麴づくりが終わって味噌の仕込みに入る。うまくいかは分からないがこれから4〜6ヶ月寝かせる。味噌の変化に、またあたふたしながら過ごすことになるのだろう。



▲ 泥だらけの参加者 ©korean.visikorea.or.kr



▲ 大型マッドプール ©korean.visikorea.or.kr

京和の (イベント編) お国自慢

梅雨もいつの間にか過ぎ本格的な夏を迎える7月、韓国は夏を迎えるお祭りでにぎやかな季節です。その中でも今年で24回目（昨年と今年はおオンライン）を迎える「保寧マッド祭り（ポリヨン泥祭り）」は、良質のマッド（泥）を活用し、多彩で楽しい体験を楽しめるお祭りです。7月中旬から10日間開かれ、国籍、人種、性別、年齢を問わずすべてが一つになって楽しむグローバル祭り、毎年200万人近い人々が訪れます。特にこの祭りが開かれる忠清南道保寧市の大川海水浴場は、韓国でも有名な避暑地で銀色の砂浜でも有名な所です。



李 京和 (イ キョンファ)
地域おこし協力隊として活動中。韓国語講座や韓国料理教室などを行っている。

この祭りのメインである保寧マッドは良質のミネラルを多く含んでいるため、美肌効果と肌疾患の治療に効果があります。「保寧マッド祭り」では、この天然マッドを全身に塗り、走ったり、転がりながら楽しい時間を過ごすことができます。さらに、マッドすべり台のマッドスライド、マッドいっばいの大型マッド湯各種手作り体験、マッドマツサージゾーンなど、マッドを活用した様々な体験が可能です。その他にもマッド歌謡祭、K-POPコンサート、マッド花火大会も開かれてもって祭りを楽しむ事が出来ます。皆さんも機会があれば楽しみながらスキンケアも出来る保寧マッド祭りに参加して見たらいかがでしょうか。